

鶴川地区 地区別懇談会 意見まとめ

開催日時：11月13日（日）14時～16時

参加者数：会場：93名、オンライン：10名 グループ数：会場：17グループ（A～Q）、オンライン：3グループ（A～C）

分類方法：ラウンド1で出た意見を、ワードや内容から分類・整理し、多い順に並べています。ラウンド2・3の意見は、ラウンド1の分類を元に紐づく意見や近しい意見を整理しています。

下記の票は、分類と意見をラウンド順に左から右へ、確認できる形にしています。

※ 表中の意見末尾の（）はグループ名を表しています。

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
子ども(27件)	(全般:11件) ・子どもが楽しめるまち。(A) ・子どもの元気な声がある、大人が働き掛ける子どもたちに。(A) ・子どもの成長がみられるまち、都会などに出ていっても帰ってこられる場所、子どもの居場所＝おじいちゃんおばあちゃんの居場所(A) ・卒業生が訪ねてきて話をしてくれる。(B) ・卒園した子どもたちが元気に登校している様子。(B) ・ご近所に新しい世帯が増え、子どもたちの声を沢山聞けるようになった。(C) ・子どもたちの声が聞こえる。(D) ・小学6年生などが施設に見学に行く。(G) ・まちとものように安心して子どもを預けられる場が駅前にある。(J) ・厳しい状況の子どもたち増える→地域の支えが大切(野菜、米)。それを活かす仕組み。(J) ・子どもの声が聞こえてくるまち。(K)	子ども(21件)	(全般:5件) ・ワクワクの足かせ。子どもがワクワクしていない！日々疲れている！(B) ・子育てしやすいまち。(F) ・子どもの声がうるさいという苦情もある(コロナ禍で増えた)。(F) ・小さな子どもたちがいることは、ワクワクする。高齢者への声掛けは嬉しい。(G) ・何をすることも「子ども」がキーワードになる。鶴川地区だと平和台地区が子どもが少ない。(O)	子ども(17件)	(全般:7件) ・親の理解必須 子どものワクワク＝親(母)のワクワク(A) ・共働きで親も忙しい、子どもも習い事いそがしい。(A) ・子どものために何かすることを考えると参加する。子ども中心に考えることは、大事なこと。(G) ・子どもたちが自然に入って行けるような仕組みがあるといい。(G) ・里山で竹あかり作りを子どもたちと一緒に。(I) ・子どもの写真をおやじの会がやる。(K) ・お子さんを中心とした考え方を持つ。(P)
	(居場所・遊び場:3件) ・子どもが楽しく遊べるような店、子どもたちに継承できるようなもの。(A) ・親子で楽しめる場所がある。(B) ・子連れで出かけられる博物館・美術館があるとよい。(M)		(居場所・遊び場:6件) ・子どもが集まるとしたらゲーセンなど同じ趣味で集まれる。(A) ・移動式子ども食堂＝挑戦(K) ・不登校児(障がい児)の教室→合格＝挑戦。みんな同じ(K) ・キッチンカー→移動子ども食堂を実施、地域のコミュニティが生まれる、地域イベントにも参加、アウトリーチ(訪問)(N) ・地域の大人が子どもの笑顔や体験を守る仕組みづくりが大切→コミュニティ施設の拡充など(P) ・駅前にも学童保育があると安心する。(P)		(居場所・遊び場:2件) ・子どもが思い切り騒ぐことができる場所も必要。(C) ・子ども食堂等で、子どもに地域の人の顔を覚えてもらう。(G)
	(イベント:4件) ・お祭りに子どもがたくさん参加していた。(F) ・地域のイベントに子どもを安心して行かせると保護者からの声。(F) ・子どもたちと風船飛ばしや親子祭り(子ども、親、先生、地域)⇒子どもたちの笑顔が見れるまち(P) ・子どもたちの祭り。(Q)		(イベント:0件)		(イベント:0件)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
子ども(27件・ 続き)	(交流・つながり:3件) ・近所で高齢者の方が「子どもさん大きくなったネ」と声をかけてくれる。(B) ・地域の方々と楽しむ機会が少なくなっている中、小さい子とかとも交流する。(G) ・朝、通学路(交差点)での子どもとの交流、あいさつ。(H)	子ども(21件・ 続き)	(交流・つながり:3件) ・学校ー地域ー子どもの連携(D) ・子どもが大きくなって、通学路などであいさつをしていた。(F) ・地域の人たちと子どもが交流できたら。(H)	子ども(17件・ 続き)	(交流・つながり:5件) ・隣何軒かの顔見知りになることで親も安心して子どもをあそばせられる。(A) ・子どもをみなで育てるのが大事。(E) ・自分が人を見ているのもあるが、我が子を人が見ている。縁が続く、広がる。(E) ・子どもとのつながり・・・個人情報の問題(I) ・子どもつながり→地域のつながり(K)
	(子どもの意見表明・参加:3件) ・どんど焼きなど中学生の参加を。(I) ・どんど焼きなど回収を子どもたちに。(I) ・公園でのおそうじ会など、使い方に子どもの声を。(I)		(子どもの意見表明・参加:2件) ・大人が集まれる場所に子どもにも参加してもらおう。(C) ・子どもの声を聞く。(D)		(子どもの意見表明・参加:1件) ・空き家に新しい家族が入ってくるようだとい。子どもが地域について考えていくまちづくり。(M)
	(学校・部活動:2件) ・地域に開かれた学校。(F) ・地元が活性化していること、小学校の存続。(M)		(学校・部活動:5件) ・(ダメ)声かけ、PTA(学校)の情報が入ってこない！(B) ・PTAに入ることは、お仕事免除となるが、3年間の間に活動していく中で、子どもに対して平等になる。(G) ・PTAの強制をしない。できる人に声をかけると上手くできることもある。(G) ・学校の統廃合、反対の意思表示→地区に学校があるのがとても大事。(O) ・コロナが収束した時には、地域で学校が連携したまちづくりをする。(O)		(学校・部活動:1件) ・PTAは大事な組織。存続を。(G)
	(見守り:1件) ・子どもの見守りを継続すると大人もあいさつしてくれるようになる。あいさつはつながる一つの要因。(オンライン A)		(見守り:0件)		(見守り:1件) ・通学路で子どもたちの見守り→老人会では行なっている・・・朝のあいさつは大切(P)
交流・つながり づくり (14件)	・地域の方々と交流、学校の部活動の活気。(C) ・ご近所の方との世間話等、何気ない会話。(C) ・人と交流できること。(D) ・人と出会えるまち。(E) ・コロナ禍では難しいが人と人の交流やつながりのあること。(E) ・子どもがいない世代など、地域とのつながりがうすい 関わり方を見直す。(F) ・つながりを作っていく。例えば『フードバンク鶴川』(企業の方と提携して廃棄になる食材利用)。(G) ・心を通じ合えた瞬間、受け止められた瞬間。(H) ・デジタルを活用したつながりを。(I) ・デジタルの活用したつながりは、高齢の方も一緒に。(I) ・一人ひとりの喜怒哀楽を共有できる (つながり)。(K) ・ご近所のつながり 助け合える。(Q) ・些細なことでもつながり。近所の人にも怒られた。(Q) ・交流が活発にできる・仲間がたくさんいることがワクワクする。運動・文化系にいつでもどこでもできる。誰も取り残さない健常者も障がいのある方もみんなで活動できる。(オンライン C)	交流・つながり づくり (8件)	・リアルに心が通じ合える交流する場をつくる、駅前などにそれが実現するビルをたてる。(A) ・地域とのつながり外出できる社会。(B) ・つながり→町内会の役員、会議、子ども会のおはやし(B) ・大学がコロナ禍で人の出入りが制限されている。つながりをつくっていくために団体を立ち上げた。(F) ・ITで先生⇄生徒、地域とつながるツールでITを、学校に行けない子にITを有効活用。(N) ・デジタルとアナログ、人と人とのつながり、その場所において欲しい、不安解消にも、独りは不安→不安がないことでワクワク感が生まれる(N) ・オンラインで場所を問わずできることがある。その時間にそのアドレスで開催すると予告し、個々に準備して参加すればとオンラインでもできる。(オンライン A) ・人とのつながりは、健康につながる。病院内にコミュニティスペースを作る取り組みをしているので、今後も様々な人々が交流できるスペースをつくりたい。(オンライン B)	交流・つながり づくり (14件)	・人が集まり・学べる場所→ポプリホールで行っている3水(さんすい)スマイル。(C) ・地域の中でかかわりをもつ関係が出来ることよい。(D) ・人とのつきあいにリスクがあることも念頭に。経験値が必要。(E) ・お互いにリスペクトしあう。(E) ・楽しい企画を出せる場が大事。(E) ・「食」は人を集められる。(E) ・大学も地域の人々とのコミュニケーションをとる方向。(G) ・地域の小中学校、高校も大学もつながる、つながりを持つ。(G) ・個人情報がないのにつながりを求めるのは厳しい。(H) ・常時開催は難しいと思うが、定期的に交流の場を持たないか。そのためにはコーディネーターの育成が必要。点と線をつなげる役割。(H) ・今やっているボランティアを続ける。そのためには健康を維持して地域の方と交流していきたい。(オンライン A) ・仮想の空間やSNSでの交流も盛んになっているが、そのような場であればワクワクできる人もいる。実現に向けて考える。(オンライン A) ・子どもが学校を卒業すると、学校で子どもを介して、対面でのかかわりが切れてしまう場合がある。交流の場がオンライン上でも持つことができるとよい。(オンライン B) ・交流の入り口として、リアルな場だけでなく、オンライン上の交流の場があってもよい。(オンライン B)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
お祭り・イベント (13件)	<ul style="list-style-type: none"> 祭りの露店、盆踊り、お祭り。(A) 常にイベントがあること。(D) 金井地区で住民が喜ぶイベントの企画(商店街)。(F) イベントが多く、会話がある。(I) イベント＝盛り上がりにつながる(I) 学校のイベントで企画をして参加しやすいようにする。(I) 町内会のイベントなど(盆踊りなど)。(L) 地域イベントでの交流、自然と生活の調和がとれたまち。(M) イベント(地元・テーマ)広域で開催。鶴川公園(球場)。(N) 伝統文化を守る・やり続ける(盆踊り、どんど焼き、やぐら、火の使い方)。(N) イベント等いろんな場所参加(活動の場所・学校でどんど焼き)。(N) いろいろな人に会えることが楽しい、話をする。イベントで話すること。(Q) イベントをつくってやるとワクワクする。(Q) 	お祭り・イベント (17件)	<ul style="list-style-type: none"> お祭り関係で人を集めたい、伝統がないからどう集めるか。町会に入る人が少ない、役所ともコミュニケーションとる。(A) 近所づきあい→イベント等で集まれる(C) 地域との交流→イベント等での役員と参加者の中間のコミュニケーション(C) 地域の商店街のイベント、フリーマーケットなど活用。(D) お祭りも楽しいが、やる方もシンドイ時もあるので、話し合う。(G) 対面して会うこと、イベントに呼んでもらうことは楽しい(声かけ必要)。(G) イベントはコロナの影響をふまえ、作り変えていく必要がある。(I) イベントはつながりができる所。(I) お祭り、イベント＝つながり(K) ごちゃまぜ会、イベントすることで共有。(K) イベントを開催。(L) どんど焼きイベントに参加。(N) アウトドアの手法(火起こし、ドラム缶風呂)について、イベント等を通じて伝えていく。(P) キャンプの開催。(P) イベントと一緒にできるように巻き込む。(Q) コロナ禍が落ち着いたタイミングで人が集まっている。(Q) イベントやる人もコロナ恐れずやる。地道に続ける。(Q) 	お祭り・イベント (23件)	<ul style="list-style-type: none"> お祭りがあると盛り上がる。子どもたちが集まりやすい、子どもが集まれるイベント。(A) 友達がお祭り(たいこなど)参加しているから自分もやろうというような宣伝の仕方がよいのでは。(A) 自分の居住地域がわからないイベントがあるといいなあ。(B) 下北沢では月に1回カレーフェアがあり、スタンプラリーして、全部集めたら次回使える券発行。はじめは人が集まらなかったそうだが、イベントがあると集まる。(E) 色々な所で小さなイベント(徒歩圏内)。(F) 公園(真光寺、鶴川中央公園)、駅前でイベントをする。(F) 小さなイベントをたくさんする→担い手も負担なくできる。(F) スキルを持った人がブースを持ってもらう→地域とつながるきっかけづくり。(F) 大きなイベントは大変だとイメージがある。(F) 施設でお祭りをしても、集まらなくなってきている中、どう人を集まらせるか、、、(G) バーベキューができるといいな(匂いが問題となるが)。(I) 以前は社協で落ち葉とやきいものイベントをしていた。(I) 人が集まる遊び・・・大縄跳び・道路に絵を画く(I) 地域のお祭りに自分らで屋台を出店する(J) お祭りは子どもたち、大人たち、つながるきっかけ。(J) どんど焼き イベントお祭りがあると良い。(K) イベントを人に合わせる。(K) 展示会、マジックショー、かるた大会。(K) 定期的なイベント、それに向けての活動。(L) 鶴川→イベントが多く、若い人には、そういうイベントが人気。(L) 地域に出張する3水(さんすい)スマイルラウンジ→地域で参加できる。または送迎バス。(L) イベント・総合的・地域(鶴川物産展)。(N) ターゲットごとにイベント開催・・・つながりをひろげていく(Q) イベントもどってきている。センター商店街。一緒にイベント開催すべき。(Q)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
拠点・居場所 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> 顔見知りができる居場所。(B) 地域でつながれる場所がある→和光大で社会人講座がある(B) ふれあいサロン等の交流できる場所。(C) 交流できる場があること。(D) 図書館とスポーツジムは地元開放されている(和光大学)。(F) 隣り近所で気軽に(SNSなど)教え合える場を。(I) 芝の家のような場があるとみんながふらっと立ち寄る。(J) 常に開いている拠点あること。(J) 気軽に出かけられる拠点がある。(L) 他の地域から人が集まり、癒される場所。魅力をもっと広げていけると。(Q) 公園や広場のような場で様々な人が交流できるまち。(オンラインB) いろいろな場所があるが使う方が限られているのでは。みんながつながる可能性があり、出会って何か生まれること。自分の好きなことができる地域であればワクワクする。(オンラインC) 病院付近・小野路には集まれる場・飲みに行ける場がない。(オンラインC) 	拠点・居場所 (15件)	<ul style="list-style-type: none"> 居場所・つながり→学校や施設(C) 近所づきあい→クラブハウスを開放して交流(C) 人が集まる場所・交流→特別なことではなくちょっとした工夫(カフェやカレー作り等)(C) 活動出来る場所があるとよい。(D) 近くに小さい公園などがあるとよい。(D) 人と人が会える、集える「場」スペースがあるとよい。(E) 活動を続ける。どこかに行けば会える。(F) イベントをやりたいが、やっていなくて、日常的に(学校の帰り道などに)寄れる場、日常的に顔を知れる場(顔を合わせて声を掛け合える場)。(G) 近くの空き家や平たい所で近所の人たちが集まれる町ができるとよい。(H) 年齢を問わず集まれる場所を作りたい(空き家を使って)。(H) 交流を重ねてお互いを知る場を作りたい。(H) 公園で飛行機を飛ばす人がいない。禁止項目(キャッチボールもダメ)が多い。枠にはめすぎ。(I) 高齢者が暮らしのエリア越えて拠点へ行くのは難しい。(J) 高齢者や障がい者の方々も含めた多様性のある方々が集まれる場があるとよい。そのような場ができたときに、場の情報を多様な方々につないでいく役割を担いたい。(オンラインB) 場づくりについて検討するにあたっては高齢者・障がい者に配慮した議論をしたい。(オンラインB) 	拠点・居場所 (14件)	<ul style="list-style-type: none"> 地域に出張する3水(さんすい)スマイルラウンジ→地域で参加できる。または送迎バス。(L) 人が集まる→大学を開放して地域と交流(先生がカレーやコーヒーを売っている)(C) 「場」(常設)が必要。(D) 自治会館などの活用(方法は検討)。(D) 近所で世代を超えて集まれる場所、スペースで交流。(E) 100円くらい集めてお茶会。(E) お茶会をやっている人もいる。(E) もっと身近な気軽にできる場所がいい。(E) 交流の場(学校など)がほしい、参加したい。(H) 一過性の場所ではない場所がほしい、お茶を飲みながらZoomができる環境がほしい。(H) 公園で和気あいあいできて、出入り自由な場を作りたい。(H) 拠点があれば人が集まりやすくなる。(J) 多様な人々が交流しながら、それぞれが持つ情報を交換しあえるような場づくり、人々が自然と交流しあえる場づくりができればよい。(オンラインB) 社会的な孤立に対して、多世代・多様な人々が集える場づくりができるとよい。(オンラインB)
まちのイメージ (13件)	<ul style="list-style-type: none"> 友達呼んだときにいいねと言われるまち。(A) 変化への期待、コミュニケーションが取れる躍動感！(C) 自由に動き回れる安心安全のまち。(C) 日頃から若い人がいるまち。(F) イケメンが多いまち(目から発信を！)(I) オシャレから挑戦出来るまち。(K) みんなを同じように見るまち(応援する)。(K) 皆が安心して住めるまち(優しい地域)。(M) 映像や映画が楽しめるまち。(O) 犯罪がない少ないまち。防犯灯など。(O) プレゼントが届くまち。(Q) 障がいや高齢の方が地域で大事にされ生き甲斐があることが家族の支えにもなる。わくわくドキドキは自分の体調や気分もあるが、弱い方の視点で話が進められたらと思う。(オンラインA) 人が行き交うまち→公共交通機関での出入りがある、町田市民以外の人たちが来てくれるまち→市民が市民以外の人たちとの交流できる(賑やか)。(オンラインB) 	まちのイメージ (4件)	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が転入してくる、まち構想を示すことが大事。(O) 町田は福祉で優しい人が多い。(O) 人が行き交うまちはワクワクする。住民や市外の方にも来てもらって、いろいろな年代や状況の方が行き交うまちはワクワクする。(オンラインA) 誰の目線からワクワクするまちにするのか・サービスを提供するのかを考えながら、高齢者や障がい者への支援を考えていきたい。(オンラインB) 	まちのイメージ (2件)	<ul style="list-style-type: none"> 安全も大事。(E) 鶴川のブランディングができれば(例:ミルクメロン)。(O)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
情報発信・共有 (12件)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が気軽にもらえるところがあること。LINEなども含めて。(D) ・独居高齢者などに情報を伝える方法。(D) ・濃すぎる隣近所のつきあいよりも場所や趣味の通じる仲間がいるほうがいい。それを探せるツール(アプリとか)あるといい。困りごと(介護等)の共有、情報交換。(E) ・マッチングアプリのような目的別につながりがあるといい。(E) ・若者は人との付き合いのわずらしさもあり、ネットで探したりしている。逃げ場のような場所？関わり？(E) ・散歩できる所、行きたい所の紹介。(F) ・周りにどう伝わっていくかが大切では。(H) ・地域のいろいろな活動を知る情報が手に入る。(J) ・気軽に出かけられる拠点の情報を発信できるツールがある(オンラインも使って)。家の近くに拠点がある、多世代交流ができる。(L) ・情報が伝わってこない、回覧板が回っていないことを改善してほしい。(M) ・地域の強みを共有！(N) ・SNSの取り組みも今までにないもので、勉強しなくてはならないが知識が入ってくることはうれしいと思う。(オンラインA) 	情報発信・共有 (26件)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報が伝わりきれてない、新と旧のつながり。(A) ・デジタル、アナログがうまく使えてない！(B) ・参加できるイベントなど子ども経由などで伝わるようにする。(D) ・鶴川地区グループLINEで情報発信している。横に広げたい。(E) ・紙の回覧板でも情報発信している。(E) ・口コミで広げる、我々から寄っていく。(E) ・デジタル化を進める、LINEの回覧板をつくる。(E) ・紙もITもどちらも大切。(E) ・QRコードで登録することを広める。(E) ・様々な活動があることの橋渡しの仕組み、サポート(特にデジタルを利用して)。(E) ・回覧板をつかう。(E) ・電子化を進めている。(E) ・オンライン(スマホ)でつながる(同じ世代、違う世代)のを支える。(J) ・情報発信→他の世代にも伝える、デジタル回覧板(いちのいち)→伝える情報がない(L) ・イベントを知る方法、紙とデジタル両方使う。(L) ・回覧板の内容を口答で伝えている。広報まちだをもらえる場を伝えている。(M) ・掲示板の活用。(M) ・ホームページの活用、町内会に入っている人のメリットを検討。(M) ・ボランティア活動、HPに情報発信！(地域で活動を継続して発信、学校事業に参加)。(N) ・自治会館で看板(紙)を設置、問い合わせ増えた！オンラインとアナログ。(N) ・町田のことをよく知り、町田の良いところを市外の方に教えて、誘うこともできる。たくさんの方が来てくれると、公共交通機関充実、さらにまちが発展、人が集えるまちになる。(オンラインA) ・町田にどのような方が住んでいて、憩いの場所やどこで何ができるかなどを知るべきと考える。(オンラインA) ・民生委員は年上が多いが、たわいもない会話から「〇〇が良かった」「〇〇は少し不便だった」という情報共有ができる。(オンラインA) ・地域の場の情報が知られていないことが多い。情報の届け方について、あらゆる方々がアクセスしやすい手段で届けられるようにしたい。(オンラインB) ・情報にアクセスするうえでのキャッチフレーズも重要。(オンラインB) ・自治会についてSNSで投稿することで情報発信などを行っている。メールやLINE・SNSなど一元で発信できるとよい。(オンラインC) 	情報発信・共有 (25件)	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく人の集まりに顔を出して情報を集める。回覧版のデジタル化等。(A) ・色々な情報があるマップがあるといいな。例えば散歩マップ、鶴川駅の生きものマップ。情報は和光大や地域の高齢者から収集。(B) ・活動があることを知ってもらおう。(D) ・学校と町内会をつなげる際に個人情報の問題があつてどうしたらいいか？(E) ・鶴川のいいお店、物を知らせる。(E) ・朝マルシェ→情報発信の仕方(F) ・若者はTwitterやInstagramで情報をとっている。(F) ・企画に学生が参加してもらい、情報発信をしてもらう。(F) ・LINEを使って情報が集まったり、取りに行ける場があればよい。防災の切り口はよい。(H) ・3水(さんすい)スマイルラウンジ→デジタル対策。社協と町内会が連携して、回覧板を電子版に(I) ・町内会もSNSを利用。無料のプラットフォーム。(I) ・楽しいアイデアを共有する仕組み。(K) ・班長会をハイブリットで開催。(L) ・デジタルも大事だけど、頼りすぎない。(L) ・幅広い年齢層が住めるように、町田の良さを伝える。(M) ・地区で交流できるツールを、皆地域で活動→生涯活動、教育的活動など、それぞれの分野でできる活動(N) ・情報発信の在り方を！(N) ・掲示板や回覧板で情報発信。(Q) ・デジタル回覧←周知できていない。SNSの活用(Q) ・班長が連絡する。(Q) ・スマートフォンの取り扱いが難しい世代がいる。情報共有について対面(1対1)が望ましい方々への配慮を。(オンラインB) ・交流するうえでまず、自分が町田のことを知る必要がある。そのうえで、町田のことを発信できるようになる。(オンラインB) ・その情報を交流した人に伝えることで、交流した人々がSNS発信や口コミで発信してくれる。(オンラインB) ・サークルやボランティア等の活動が知られていない。野津田公園・ポプリホール・薬師池公園などで1週間連続で毎月定期的に周知活動を行うなど。(オンラインC)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
自然 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見川に様々な鳥がくる。コイの産卵を見られる。(C) ・季節ごとの自然に触れる。(C) ・金木犀、お庭に木が植わっている。四季が感じることができる。(F) ・町田の自然を大事にしたい、23区と比較して違うこと、それをきっかけにした話題作り。(H) ・自然がいっぱいある、以外にも大勢の知り合いがいる(笑顔で話しかける)。(I) ・自然も大事。(I) ・カブトムシや花の自然。(K) ・野生動物・自然が多いとよい。(M) ・川でどんな魚が釣れるか想像できるまち。←自然が多い。鶴川は武相荘などの文化が残っている。(O) ・地場野菜を毎日見ることがワクワク。(P) ・自然ウエルカムゲートがきれい。薬師池。(Q) 	自然 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中での交流→鶴川にある豊富な自然(マップ等)(C) ・まちの価値、自然が豊か。(E) ・里山・環境(復活を)・・・保全活動(I) ・里山には駐車場がなく、気軽にいけない⇔近隣の人は駐車場を作らないという意味があった(I) ・野菜を育てているため、野生動物が増加すると困る。(M) ・子ども目線・子ども視点 鶴川良さ・自然紹介・パンフレット作成配布。(N) ・魅力あるまちづくりを進めていけば若い人や子どもが増えてくる。←自然が多い、カブトムシ、ホテル(O) 	自然 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴川の自然の中で、みんなで(企業も)協力していく。(G) ・空き家が多い、これらをなくして自然が多くできる取り組みができないか。(O) ・高齢者でも元気な人が多くなれば良い(そのために自然・文化・歴史を生かして、鶴川地区にウォーキングコースやスタンプラリーを用意してくる)。(O)
活動のしくみ (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地道にコツコツ今できることを、安心感がもてるように。(H) ・金銭的支援がしっかりある。(J) ・新しいことを始める、楽しめるツールがある。知らない人と知り合える。(L) ・男性は、趣味があるとつながれる。草刈り。(L) ・自由に参加できる。(N) ・先輩から後輩へつなげる、継続つなげる、コミュニティが生まれる。(N) ・継続するために変化、変化することで文化を守る。(N) ・継続、残すこと、活動をする、年代によって使命・連携・共有を図る。(N) ・市民の意見が反映されやすい、意見を言いやすい場があるまち。(オンラインB) ・潜在的にやりたいことがたくさんあるが、誰かに背中を押してもらえるとできる。バリアを少し下げて次の活動に移れるようになるのでは。(オンラインC) 	活動のしくみ (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる人の声を直接聞く。(F) ・やりたいこと(テーマ)あげて、この指とまれ方式。(J) ・地道なつながりをコツコツ築く。(J) ・自分でやることを決める(計画・実行・反省)。(L) ・外国籍、異文化を持つ方々を受け入れられるようにしている。(M) ・アウトドアのイベント等の取り組みをどう実現していくかの仕組みづくり(事業者としての意見)。(P) ・共通の趣味をきっかけにする。(Q) ・会場を確保できると良い。(Q) ・支援をされていると思われる方の「力」をみせてもらうことで、できることはまだまだあるという感覚を味わえる場所があると良い。(オンラインA) 	活動のしくみ (11件)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の意図をどこまで説明できるか(I) ・「おらがまち」各地域の強みを結集→地域の歴史・文化(N) ・各地域にある組織力！強みを活かす拡大・拡充。(N) ・決して恐れずやってみる。(N) ・組織にとらわれることなく主体的に地域の活動に参加。(P) ・共通の趣味で集まる(サッカーW杯、お酒)。(Q) ・雑談→ヒントを得る。(Q) ・小さいグループで集まる。協力し合う。(Q) ・人それぞれのワクワクすることにつなぐ場所や仕組みに貢献する。(オンラインA) ・カウンセリングに近い活動を行っているが費用やインフラがなく参加できない方もいる。(オンラインC) ・仲間がいない・きっかけがないなどが理由(4項目合計)で参加しない方が50%いるのもつたいない。(オンラインC)
あいさつ・声かけ (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に「おいで」と声をかけられる地域。(E) ・顔見知りと気軽にあいさつ。おしゃべりができる場所。(F) ・若い人、子どもと会ったときにあいさつができる。(H) ・あいさつ運動、まちとも、若返る、みんなのおじいちゃんになる。(H) ・顔見知りとのあいさつ。(M) ・誰かと会って話す・会話・出かける(鶴川団地、商店街)。(N) ・住み良い町。地域に恩返しをしたい。←顔見知りになる。人付き合いのストレスがないまち。(O) ・人に話しかけられる人に話しかけやすいまち。←「ありがとう」の声掛け(O) ・蜘蛛の巣のような関係、つながり、薄い関係、あいさつ、弱いけどつながっている関係がある。(Q) ・知らない人でも声をかける、日々の積み重ね。それが「近所にどのような人がいる」というつながりになる。(オンラインA) 	あいさつ・声かけ (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをしていると顔見知りになる。(F) ・あいさつが盛んな町になると防犯に役立つと聞く、放課後でもよいかから日常的な声かけがほしい。(H) ・あいさつ運動をしている。(M) ・声掛け、あいさつを長年している。(M) ・人とのつながりが大事。まずはあいさつ。少しずつ広げる。(Q) 	あいさつ・声かけ (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつを交わす 学校→まちへ(D) ・声掛け、あいさつが大事だと思う。(E) ・あいさつからは始めるコミュニケーション。(K) ・表に出て人に会い、あいさつをする。健康に気を付けて人と関わる、知らない人にもあいさつしていくことでワクワクにもつながる。(オンラインA)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
活動の担い手 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人がイキイキして参加してくれる。(F) ・地域のイベントを若い人へつなげていける 若い人が参画していけるように。(F) ・鶴川に勤めている人、通学している人 地元の人でない人も参加できるように。(F) ・大学と協同、企画から一緒にやっていく。(F) ・役員と参加者の間くらいの負担だとお手伝いできる。(F) ・地域の人たちの手伝い。(J) ・新しい人を受け入れる雰囲気があるといい。(L) ・新たな参加。(N) ・場づくりの担い手となりうる団体・企業が町田に誘致できるとよい。雇用も生まれる。(オンライン B) 	活動の担い手 (14件)	<ul style="list-style-type: none"> ・意識して積極的になんでも参加。(B) ・自分から出て行って参加する。(D) ・若い人の力、若い人との交流。ボランティアを大学の単位に組み込めないか。(E) ・放課後の見守りサポーターは玉川大では単位に認めている。(E) ・大学入試にもボランティア活動を重視している。(E) ・学生が図書館の手伝い。(E) ・学生と地域の連携。(E) ・自分は大学教員だったので仲介することもできる。(E) ・大学や中学や高校の退職した教員の人材バンクがあるといい。(E) ・鶴川に日中働みに来ている人にも声をかけて一緒に意見交換をする。(I) ・初めの一步＝高い壁と感じる人は出てこない、難しい(J) ・新しい人を誘うのが難しい。(J) ・自分で全てやらず、得意なことをやる。(L) ・最初の一步をどうつくるか。新しい人が入るように(特に男性苦手)。(Q) 	活動の担い手 (35件)	<ul style="list-style-type: none"> ・「これを絶対やらなきゃいけない」という感じではない引き継ぎ方をするとよい。(A) ・みんながみんな役員をやらなくても良い空気。(A) ・継続は力、ボランティアなど続ける。(A) ・やり終えたときによかったと思える活動をする、続けていって仲間を増やす。(A) ・日中鶴川にいる働く人、学生が活動できる(タイアップ)。(B) ・仕掛け人が必要。(D) ・ボランティアやサークル活動は「続ける」こと大事。(E) ・ボランティアは時間も金銭のバランスの問題もある。(E) ・1日だけ、数時間だけでも関わってもらい→次につながる。関わった人も地域とつながる。(F) ・企画に若い人も参加し、楽しかったことをアピールしてもらおう(大学生側から)。(F) ・大学生が地域とのつながりの活動をするとう単位がもらえるといい。(F) ・鶴川を考えてくれる住民票がない人も巻き込んで鶴川のことを一緒に考えたい、顔の見える関係が大事。例として、防犯など参加しやすいテーマはどうか。そこから、町づくりのイベントもやっていけば。(H) ・公共性の強い人たちはかかわってくれるかも。例として、社協などの人たちと話し合う。(H) ・若い人がいない・・・玉川大学のボランティアを単位化してほしい市の仲介で地域のつながりをもつ(I) ・大学の力を借りる(和光大学)。(I) ・自分たちが積極的に外へつながりを求める。そうしないと支え手が細くなる。(J) ・近隣の大学生にボランティア、声掛け(単位になる)。(J) ・空き家に市職員が住む。(K) ・役所のボランティア参加、評価する(ボーナス)。(K) ・新人研修(ボランティア)。(K) ・ゴミ拾いに企業などを巻き込む。(K) ・人形作家＝福田さん(K) ・できることをできる人がいる(決まった人になってしまう)。(L) ・若い人が入ってきやすい環境をつくる。(L) ・若い人の意見も聞く。(L) ・子ども会の役員が大変。(M) ・動ける人などをつなげていく。(M) ・イベント・各事業参加・イベント司会やります。(N) ・おらがまち(学生も一緒に、子育て世帯サポート)。(N) ・ハード面で UR に協力→地域の人・事業者、地域の自治会・企業、参加型イベント(N) ・自治会等に参加されていない方も引き込んで地域活性化を目指す。(P) ・誰かに背中を押してもらおう。(Q) ・一人ひとり拡げていく 巻き込む。(Q) ・何かの役に立てると男性参加しやすい。(Q) ・町内会に参加していない人を巻き込む。(Q)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
健康づくり・スポーツ (7件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元のスポーツチームの活動。(C) ・ 公園でのラジオ体操の参加。(I) ・ 走ることが大好き・・・1人だけではなく、みんなでつながりやすいように(I) ・ ゼルビア J1 昇格。サッカー地域貢献。(Q) ・ FC まちだゼルビアなど、地域と一緒に一体となって応援できるもの。週末にみんなでチームを応援しようという思いで仕事も乗り切れる。(オンライン A) ・ 対面のイベント、特に体を動かすイベントがあると良い。(オンライン A) ・ スポーツ等のできる場所は鶴川地区にはたくさんある。交流もでき楽しめる方をたくさんつくる。いつでもその場に行くに参加できる。(オンライン C) 	健康づくり・スポーツ (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ラジオ体操を企画しても参加するのは老人ばかり。子どもを巻き込みたいがコロナが気になる。(H) ・ 「楽しい」がワクワクの基本。スポーツ弱者が楽しんでもらえるものを考え、スポーツが当たり前の人はもっと楽しく伝えていく。どう相手に伝えて「楽しく」していくかが大切。(オンライン A) ・ 鶴川に文化とスポーツの総合センターがない。みんなが持つノウハウで組織化してやっていくと良くなる。(オンライン A) ・ ボルダリングをしているが、スポーツにはお金がかかる。補助があると活動しやすい。(オンライン C) 	健康づくり・スポーツ (4件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォークラリー。(P) ・ 町田はスポーツ行政は進んでいる、ボルダリングの団体の本拠地は町田にあるが、場所がない。(オンライン C) ・ ゆるスポーツの組織を作りたい。多様化したものに合うような。野津田公園にはできている。薬師池公園など家の近くでいくつもできるとよい。(オンライン C) ・ 予防に対して費用をかけていないのでは。(オンライン C)
町内会・自治会 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役所の人は、町内会に入って下さいと言うけれど、コミュニケーションをとるのは難しい。会話も難しい。積極性もない。(G) ・ 町内会は、年齢で考え方も違う。町内会もイジメのようになる。(G) ・ しかし、町内会に入ると友達ができる。(G) ・ つながれることは、魅力的。(G) ・ 活気を感じさせてくれるまち！・・・自治会の取り組みも大切(P) 	町内会・自治会 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会で公園掃除をしているところがある→交流の場になっている(H) ・ 町内会自分たちで魅力のあるものを作ろうとする努力。(A) ・ 町内会のイベントに集まる年齢層、積極的に子どもが参加しやすいように学校などの協力。(A) ・ 町内会と連携する。(E) ・ 新築の家が建つが、町内会になかなか入ってくれない(お金がかかる、役が大変等の理由。昔は、当たり前のように入会していたのに)が、入ってくれる人がいた時は大変嬉しい。(G) ・ 小さな公園ができて管理しきれっていない、古い町内会はつながりを持っている。(H) ・ 働くお母さんが町内会に入るのは難しい。最近の若い人たちは人に頼めないようだ。外部の人たちは頼ってほしいと思っている人もいる。そこをどうクリアしていくか。(H) ・ どういう町内会に入りたいか・・・若者はメリットを聞いてくる(I) ・ 自治会活動継続！(N) 	町内会・自治会 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会の役員になると大変なイメージ、役員になるとやめちゃうなど(A) ・ 町内会個人情報の収集を遠慮しすぎている。組織の維持が難しくなる。(A) ・ 子ども中心になると、町内会に来なく(来れなく)なる。(G) ・ 何が問題なのか、例えば、町内会に入らないことなどを考える(昔は、子ども会もあった)。忙しい中、一つでも参加できることを聞いてみる。(G) ・ 町内会の声・・・かけてもらおう声として一生ここに住むことになるという考えでしまう⇒メリット探し(I) ・ 地震問題(対策)を考えて町内会に加入。(I) ・ 防災の意識のある方は町内会に加入している。(I) ・ 町内会をよく知るための情報発信→ホームページ(J) ・ 町内会に入るメリット、昔は当たり前。←若い人、時間がないわけではない。(L) ・ 拘束されるのが嫌。(L) ・ 町内会のイベントで、地域のつながりを感じられるとよい。(M) ・ 町内会でイベントをいろんなかたちで開催。ex)公園のベンチ日曜大工。(Q) ・ 自治会の加入率40%代。加入者離れや高齢化などがある。若い方にとって加入するメリットがない。市としても自治会の活性化を。(オンライン C)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
多世代交流 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> 若い人・子ども・高齢者がみんな笑顔で交流できるイベント。(B) 高齢者⇄子どもお互いに見守れる(B) イベント+飲食、相談会、健康診断(企業) 色々な世代が集まれる。(F) 若い人に自分たちのものが手渡せている実感があるとき。(H) 異世代のつながりのあるまち。(K) 多世代が楽しめる場(お金を使わない)があるまち。(オンライン B) 	多世代交流 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> 文化の継承、3世代の交流、一緒にできるもの。(A) 多世代向けのイベント。(F) コロナと共存、コミュニティ、世代間交流できるイベント(真光寺でやった)。(K) 	多世代交流 (9件)	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ。小学生も町内会のお茶会に参加するなど、子どもとお年寄りの交流。(A) 生活する上での需要と供給→マッチングできるような仕組み作り(若者と高齢者の交わり)(C) 多世代向けイベント。食べ物屋、マルシェ、体験会など。(F) スマホ教室はおしゃべりの場でもある。若い世代と高齢者が会話する。(F) 世代交流イベント(老人会、子ども)。(K) 子ども～高齢者までが参加できるイベントを行い、町内会などに入りやすくなる。(M) 世代別ではなく子どもから高齢者までが同時につながる機会を設けていく→地域の活性化(P) 世代間交流(ラジオ体操、回覧板で周知、子ども食堂など)を増やしていく→互いに無理のない範囲で(P) 多世代と交流したときに、町田の良さを紹介できるようになりたい。自分で使ってみる。足を運んでみる(自分で経験して紹介できるようになる)。(オンライン B)
障がい者 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者、障がいをもった方にも住みやすい・居心地の良い・自分が大事にされていると思ってもらえるまちづくりが大事。ポプリホールが参考になる。障がい者が集える機能が必要。(オンライン A) 障がい者の方々が社会参加しやすくなるような支援があるとよい。(オンライン B) 精神障がいを患い、外出が困難。つながることに苦労がある。交流の場所について誰に相談すればよいか。(オンライン C) かたつむりの家でのボランティア活動実施経験あり(ハッピーカワセミ・知的障がいの団体が制作した作品等を販売・市役所のアトリウムにて)。精神障がいの当事者にも同様の活動(制作した作品等を販売)があると良いと思う。(オンライン C) 	障がい者 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者、シニアも生きやすいようにする活動。(A) 里山で声を出して歩くことができる・・・障がいのある子どもも参加できる(I) →一緒に何かをやることは互いの状況が理解できる。(I) 障がいの有無にかかわらず参加し活動する。ボランティアも一緒になって利用者とアートする。自分の力で何かをつくる活動をしていく中で趣味を見つける人もいる。(オンライン A) アート活動については昨年度まで職員としてハッピーカワセミの活動に関わっていた。通所していると一般の方とかかわりが少ないため、関わるとよい。(オンライン C) 	障がい者 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の当事者活動でアバターを使ってやるものが取り組まれている。自己実現につながっている。(オンライン A)
店等 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> hobby の店がない。(A) 商店街がワクワク。(C) 商店街がなくなって寂しかったが、並んでいるような新しい店おしゃれなカフェがあったりするとワクワクする。(E) おしゃれなカフェ、おいしいお店。(F) 新しいお店ができる。新しい人が来る。ワクワクにつながる。←大学や学校があるので若い人が多い(O) 	店等 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 新しいカフェ、パン屋ができる、絶対行く!!(B) 	店等 (0件)	
支え合い・助け合い・見守り (3件)	<ul style="list-style-type: none"> 支え合い・助け合い・見守り外に出てお年寄り・子どもをみること。(E) 支え合い・助け合い・見守り町内でお互いに助け合えるとき。(H) 支え合い・助け合い・見守り日常的な声かけが見守りになる。(H) 	支え合い・助け合い・見守り (2件)	<ul style="list-style-type: none"> アウトリーチ(独居老人のところ、待っているだけでなく出ていく)。(E) 見守り、あいさつ運動への感謝の気持ちを伝えましょうと、保護者に声かけをしている。(M) 	支え合い・助け合い・見守り (0件)	
移動手段 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> シルバーパスで町田駅方面へ(地元の商店街行かない)。(N) 場があっても高齢者が通う手段がない場合がある。その手立てがあるとよい。(オンライン B) 	移動手段 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> 自転車置き場がすぐいっぱいになる、バスの終電時間が早い。(C) 自転車専用レーン(安心安全のため)。(F) 急行が停まって欲しい。(F) 和光学園行きのバス→通学時間帯の増便(F) 	移動手段 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> 移動手段→地域を定期的に巡回するバス(C) 車がないと移動が不便、移動手段の検討。(F) 移動できる仕組みを地域・行政でできること。(オンライン C)

分類	ラウンド1:(1)毎日ワクワクするのってどんなまち？ (177件)	分類	ラウンド2:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(175件)	分類	ラウンド3:(2)「(1)での話し合い」を実現するために あなたができること(202件)
駅前開発等 (2件)	・鶴川駅付近の土地(更地)に何が！新しくたえられるのか楽しみ。(P) ・鶴川駅前開発。(Q)	駅前開発等 (1件)	・南口の開発、事柄が伝わるようにうまくつかえるように。(A)	駅前開発等 (3件)	・鶴川駅の開発されることによる期待のワクワク！(B) ・開発に意見を言える場所。(B) ・鶴川駅の周辺計画(開発)を高齢の方にも周知を。(I)
団地での活動等 (1件)	・お祭り(三団地合同の大きなお祭り)は、準備の段階(企画)から楽しい。(G)	団地での活動等 (3件)	・みんなで声をかけあえるまちの実現のためのイベントつながりづくり(団地の清掃)。(B) ・団地の活用。リノベして安くし、若い人を集める。(E) ・団地祭り。(P)	団地での活動等 (5件)	・団地周辺を巻き込んだ企画を考えて。(I) ・団地再生事業が今後のカギ。(J) ・鶴川団地建替え時、イベントスペース⇒つながり(K) ・鶴川団地が高齢化←他市(座間市)では団地をリノベーションして若い人を呼び込んでいる。高島平では「無印良品」とかも入っている。(O) ・鶴川団地内で電動カートを走らせている。そこに住んでいる若い人がボランティアなどで手伝ってくれると良い。(O)
高齢者 (1件)	・高齢者等の方々がまちなかで過ごしやすいまち。(オンライン B)	高齢者 (2件)	・鶴川は高齢者にやさしいまちというイメージ。(F) ・高齢者のイベント参加を促進していく。(P)	高齢者 (1件)	・地域のいろいろな方が役割を持てる。働けるデイサービスは町田発祥でもっと増えるとよい。(オンライン C)
防災活動 (1件)	・災害時のボランティア参加。(I) ・みんなと会って話ができること。防災訓練に初めて参加し、現状を聞いたり、新しい知識を得られて気持ちの上でワクワクする。(オンライン A)	防災活動 (1件)	・防災訓練を行なっている。(I)	防災活動 (2件)	・積極的ではない人たちに対して、どうアプローチしていくか。みんなが興味ある、防災をテーマにするのは。イベントは割とどこもやっている。(H) ・災害時の避難時のためのつながりが必要。町内会。(K)
生活支援・外出支援 (0件)		生活支援・外出支援 (6件)	・生活をするに必要なこと、近所でできることのバランス。(C) ・高齢者の買い物のお手伝い、カートの運転を大学生にお願いする。(F) ・フードバンク、子ども食堂増える。(K) ・鶴川キャップというグループで活動している。送迎等を行うボランティア活動。自分では交流の場に参加できない方を送迎するための足の確保が必要。(オンライン C) ・交流の場があっても移動手段がないことが課題。移動手段の確保をどのように行うか。車(施設の車を借用)と運転手(誰かにしてもらおう?)。(オンライン C) ・鶴川キャップの活動が広がるとよい。(オンライン C)	生活支援・外出支援 (4件)	・買い物支援、声掛け支援→学生の力で！(C) ・外出支援事業の活用。(D) ・CAP(通院サポート等)の活動。高齢者の方が「ぷらっと・ぷらっと・ぷらっと(バリアフリー)」できるものを。(オンライン A) ・CAP(通院サポート等)のような活動を自治会でもできればよい。(オンライン A)
バリアフリー等 (0件)		バリアフリー等 (2件)	・版画美術館や芹が谷公園など、足を運んだ先でバリアフリーの状況等も意識的に見る。(オンライン A) ・鶴川ポプリホールは施設の機能としてよくできているが、高齢者や障がい者が集う場としての機能が弱いのではないかと思う。そのような方々も集える場をつくる手伝いをしたい。(オンライン B)	バリアフリー等 (1件)	・鶴川ポプリホールは、高齢者・障がい者の方にとっては、構造が複雑。整備時に多様な方々への配慮が必要。(オンライン B)
その他の活動 (4件)	・毎日ワクワクするのは、難しい。魅力的な活動をすることがワクワクにつながる。(G) ・サークル活動を継続的に。(I) ・結いの会のような活動。(J) ・老人会での旅行。(P)	その他の活動 (3件)	・図書館、英語多読の会の会員を広げたい。(E) ・学びの広場でできる。(E) ・犬の散歩。(F)	その他の活動 (2件)	・病院でサークル活動を。(I) ・オンラインで話を聞く・アートもオンラインで活動できる。(オンライン C)
その他 (2件)	・目標があるとワクワクする。(L) ・ワクワク=楽しい(Q)	その他 (3件)	・移住支援。(F) ・Jアラート・・・ことばの使い方が違うのでは(I) ・医療と介護・・・救急の病院は他県に行っている(I)	その他 (6件)	・みんな違ってみんな良い。(A) ・相原の大地沢は鶴川から2時間かかる。(E) ・ワクワクするってことが、そもそも薄い。(G) ・市が民間に丸投げしている現状をどうするか。(H) ・病院の関係者もイケメンで。(I) ・千葉県の鋸南町では廃校になった学校を再利用してホテルにしている。低コストで魅力あるまちづくりをしている。(O)

＜市ホームページ・メール等から頂いたご意見＞

地区別懇談会への参加が難しい方に、町田市ホームページやメール等で「① ワクワクするまち」、「② あったらしい活動」をたずねて、ご意見をいただきました。

鶴川地区では、8名からご意見をいただきました。ご意見の内容は、以下の通りです。

① ワクワクするまち

- 賑わいあり、元気で挨拶出来る人達逢える。地域活動に大勢の方々来て欲しい。
- 歌の会を開いて、皆で交流。
- すべての人が心身ともに健康で明るく過ごしていけるまち。
- 駅前にペDESTリアンデッキがある街 ワクワクするし雨でも対応できる。
- どこかでイベントをやっていて、気軽に参加できること。
- 子どもたちのにぎやかな声と笑顔があふれる街。
- 地域行事が楽しく思える町。

② ワクワクするまちの姿を実現するために、あなたができること

- 毎週日曜日開催していることだが、リサイクル広場の開催と町トレ等継続。定例会を全役員委員で行う。
- 歌の会を開催すること。
- 道行く人にあいさつする困っている人に手を差し伸べることができるよう、自身の気持ちに余裕を持つ。
- 何か催しものがあったら積極的に参加してみる。
- 子どもひとりひとりを大切に思うこと。
- 地域の方々の意見をできる限り聞き入れたい。
- 何も無い。

③ あったらしいと思う地域の活動

- 歌の会、ピアノで沢山いろんな歌をおもいきり歌う会を開催したい。広告やお手伝いをしてくれる仲間が必要。
- サロンのようないつでも気軽に行ける場所。
- 子どもの自由と権利を守れる居場所づくり。
- 今のところ、思いついていない。
- 特になし。